



22年の新しい年を迎え、市民の皆様も元気で過ごしのことを思います。

八幡平市民の皆様へ市長からのお願いです

さて、皆様も感じておられるように、昨年後半からの国そして私たちが住み暮らす八幡平市において、暮らし・経済は厳しい状況が続いております。国による、よほど効果的な経済対策があったにしても、今後数年は、この様な状況が続くものと予測されます。

市としても、各種の対策は講じてまいりつつもりですが、劇的な効果は見込めないのが実情です。しかし、市民の皆様が協力しあえば、この状況を少しでも改善できる唯一の方法があります。それが「地産地消」です。

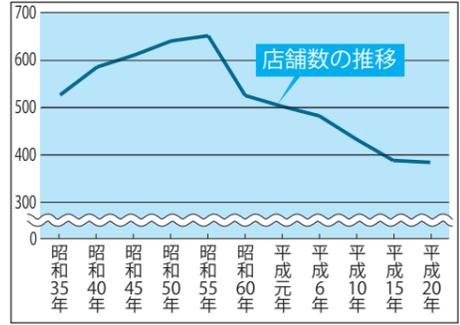
幸い私たちが住む八幡平市には、豊富な生産物、産業があります。米、野菜、牛肉、豚肉、卵加工前であるソバ、味噌、豆腐、納豆。そして、建設会社、工務店、板金塗装店、水道工事店、運送会社、家具店、観光施設、ゴルフ場、商店、ギフト店など。市民の皆様が市内を利用し、消費することは、若い人たちの雇用確保にもつながります。その支援策として、市では市内共通商品券に対して5割の助成を行っております。また、リフォーム事業も好評なことから、継続して実施してまいります。

市民の皆様、一人一人の地元消費により市の経済は間違いなく活性化します。市民の皆様のご協力をお願いします。

◆地産地消が地域を盛り上げる

①地域の商店の昔と今

グラフ：市内の卸売り・小売業商店数



(岩手県統計年鑑から抜粋)

住民の生活を支えてきた地域の商店などが、大きく変わってきています。にぎやかだった商店街にはシャッターを下ろす店舗が増え、買い物などで行き交う人もまばらになっています。

商店街は、どうしてにぎわいを失ってしまったのでしょうか。

にぎわいのあった地域の商業

八百屋、魚屋、酒屋、雑貨屋などたくさんのお店が、地域に軒を連ねていたころ。買い物といえ、地元の商店で店主との会話を楽しみながら行うのが当たり前でした。夕方になると、その日の夕飯のおかずなどを買い求める主婦などで商店はにぎわいを見せ、まちは活気であふれていました。このころ、都市部などに買い物に出かけるといことは、数少ない楽しみの一つでした。50年以上にわたって大更で伊藤食品を営む伊藤京子さんは「大更駅前から続くこの通りには、昔は何でもあったん

変わっていった消費者の行動

高度経済成長を迎えると、個人所得の向上とともに、自家用車を所有する家庭が増えていきます。いわゆる車社会の到来です。自動車は、生活必需品と言われるほどの広まりを見せます。この自動車の普及により長距離移動が簡単になり、個人の行動範囲は飛躍



昭和50年代の国道282号線沿い大更地域

です。この通りで生活に必要な物はすべてそろえることができた。通りは人であふれ、本当ににぎやかでした。今ではすっかり変わってしまった、さみしいけど当時の様子を懐かしそうに聞かせてくれました。



ローカルヒーロー「岩鷲護神・ハチマンタイラー」にも地域の盛り上げが期待されています



今も開催されている荒屋新町の定期市。商店街との相乗効果があったのも今は昔のことです

的に広がっていききました。また、経済的余裕から消費者ニーズが多様化し、自分の好みに合った物を探し求める人が多くなりました。その結果、より品ぞろえの豊富な都市部の大型店などを利用する人が増加していきました。1力所で必要なものが全てそろえる便利さも、客足が大型店に向うことにつながり、次第に地域の商店は、にぎわいを失っていくことになりました。

昭和4年から荒屋新町に店舗を構える柴内商店の柴内志津子さんは「店の数や人通りは、すっかり減ってしまいましたよ。商工会にもがんばって活動してもらってますけど、厳しい時代ですね。若い人たちは車を持つてるから、何か

のついでに買い物をしてくる。そうやって買い物客がどんどん地元から離れていったんでしょうね」と商店の今をさみしそうに話してくれました。

左上のグラフは、昭和35年から市内の卸売り、小売業の商店数を5年ごとに表しています(合併前については、旧3町村の数値を合算しています)。毎年増加していた商店数が、昭和55年を境に減少し始め、現在まで続いています。車社会の到来や大型店などの進出だけが、その要因ではありませんが、地域の商店などの店舗数は、確実に減っています。そして、このことが、地域のにぎわいを失わせる要因の一つともなっているのです。



企画 地産地消が地域を盛り上げる

深刻な状況に直面している日本経済。

その影響は、地方に行けば行くほど大きく、ディスカウント、セールなど低価格を売りにする大型ショッピングセンターなどの勢いに押され、地域の身近な商店などは、いまだかつてないほどの大きな打撃を受けています。

生活になくはならぬ地域の商店。地域からなくしてはいけない身近な商店。

農産物だけではない、もう一つの「地産地消」。地元の産物を、地元の人々が利用(消費)する「地産地消」。

地域経済を盛り上げるこの「地産地消」。皆さんも実践してみませんか。

③皆さんの地産地消が地域経済を活性化し、地域を盛り上げる

100年に1度の不景気と言われていれる現在の日本経済その影響は、地方に行けば行くほど大きいものとなっています。その影響を色濃く受けているのが地域の商店などではないでしょうか。不景気から消費者はより安いものを求め、買い物などに出かける範囲を広げていきます。結果として、地域を利用することが減っていくこととなります。市外の大型店などは、確かに品ぞろえが豊富で、市内に比べ多少なりとも低価格であるかもしれません。しかし、いざ困ったとき、突然必要なものができたとき、頼りになるのは、地域の身近な商店などです。地域に密着し、地域のことを誰よりも知っている。そんな地域の商店などが今、危機を迎えています。消費者が離れていった商店街などでは、シャッターを閉めた店舗が目立つようになってきています。そんな今こそ必要なのが、地域を利用し、地域で消費する「地産地消」です。地域の商店などを利用して、消費することが増えていけば、地域に活気が戻り、利便さも向上するはずです。

市商工会では、地域経済活性化に向け、お得な商品券を販売しています。また、製造体験などを通じて、市内外から消費者などを呼び込み、地域のにぎわいを取り戻そうと積極的に活動している商店などがあります。都市部にも負けない趣向を凝らしたメニューで楽しませてくれる飲食店もあります。地域経済の活性化が、地域の盛り上がりとなります。地域のにぎわいとなります。それは、市民の皆さんのちよつとした行動から始まるのです。今から始めませんか、地域を利用し、地域で消費する「地産地消」を。

八幡平市共通商品券を使って 市内でお得に買い物を



市商工会では、お得なプレミアム付きの「八幡平市共通商品券」を販売しています。

通常1枚500円の商品券を、10,000円で10,500円分(21枚)購入できるというもので、市商工会に加盟する市内約250店舗で使うことができます。

この商品券は、市商工会本所・各支所で販売しています。

詳しくは、市商工会(☎76-2040)まで。

②地域に根ざし がんばり続ける商店

市民の生活を支え、地域を盛り上げようとしてがんばっている商店などは、市内にまだまだたくさんあります。そんな商店などを営む皆さんの声を聞きました。

お客様との接点を大切にしています。地域の商店として、一人一人のお客様との会話を大事にして、親しみを持ってもらえる前向きな店づくりを目指しています。店舗はステージだと考えています。商品やサービスなどを通じて、どう表現するかが重要です。大更のフーガの広場で土曜市をやっており、お客様同士のコミュニケーションの場にもなっているようです。これが地域のにぎわいにつながってくれたらうれしいです。



麴屋もとみや
本宮隆一さん
本店 八幡平市清水133-3
☎72-2145、営業8:00~20:00(1月1日、2日以外営業)
味噌工房「俣」 八幡平市寺志田165-28
☎63-1700、営業8:00~17:00(土日定休)

お客様に選んでもらえる、魅力ある商品づくり、店舗づくりを注いでいます。ここにしかない、オンリーワンの商品づくりをしなければなりません。魅力のある店になれば、必ずお客様に来てもらえると思います。そして、そうすることが私たち商店の義務だとも思っています。地域に、生活に密着している私たちだからこそできるサービスがあります。その良さを知ってもらい、私たちの商品のファンになってもらえようがんばっていきます。



たむらストア
田村俊郎さん
八幡平市西根寺田16-74-3
☎77-2226
営業8:00~19:30
1月1日、2日以外営業

お客様とのコミュニケーションを大切に、会話を通して商品を購入してもらえよう心掛けています。信頼してもらえることが一番です。お客様の笑顔が何よりもうれしいですね。品数には自信を持っています。子どもからお年寄りまで、年齢や性別に関わらずお客様の要望に応えることが重要です。それができたときの達成感は大いいですよ。欲しいものが必ずある店、安心して買ってもらえる店をこれからも目指していきます。



無国籍ダイニング&カフェ らんぶ
菊池陽介さん
八幡平市柏台2丁目3-3
☎78-2066
営業ランチ11:30~14:00、ディナー18:00~23:00
不定休

自分を含め、スタッフの魅力ある人づくりを大事にしています。都会のように毎日違うお客様が来店するわけではありません。私たちスタッフとの会話などを目当てに来てもらえる、そういう店にしたいと思っています。基本は地元あつての店ですから。いろいろな料理やお酒がおいしく楽しめるのが「らんぶ」です。まだまだ勉強中ですが、もつと魅力のあるメニューづくり、店づくりに力を注ぎ、これから情報発信できるようにしたいと思っています。



まつもり呉服店
沢口英伸さん
八幡平市大更21-10-3
☎76-2025
営業9:00~20:00
1月1日以外営業